

# 大江戸線延伸ニュース 第14号

平成27年8月発行

大江戸線延伸促進期成同盟  
練馬区大江戸線延伸推進課



## 東京都が大江戸線延伸を 整備について優先的に検討すべき路線に位置付けました

### 交通政策審議会答申に向けて一歩前進！！

東京都は交通政策審議会の次期答申\*に向け、都における今後の鉄道ネットワークの在り方等について調査検討をし、7月10日に検討結果を公表しました。そこでは、国や区市町村、鉄道事業者が検討している37路線の中から、大江戸線延伸を整備について優先的に検討すべき5路線の一つに位置付けました。今後、この考え方を国の交通政策審議会に提示し、次期答申に反映を求めるとしています。

大江戸線の早期延伸には、交通政策審議会の次期答申において、整備に向けた明確な位置付けを得ることが不可欠です。区は引き続き、実現に向けた課題に積極的に取り組みながら、事業予定者である都との協議を着実に進めていきます。

\*東京圏の鉄道は、平成12年の運輸政策審議会第18号答申に基づき整備が進められています。その答申の目標年次（平成27年）が近づいていることから、国は平成26年4月に交通政策審議会へ「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」を諮問しており、平成27年度中に審議会答申（次期答申）が取りまとめられる予定です。

#### 整備について優先的に検討すべき路線

- ・東京8号線延伸（豊洲～住吉）
- ・東京12号線延伸（光が丘～大泉学園町）
- ・多摩都市モノレール延伸（箱根ヶ崎方面）
- ・多摩都市モノレール延伸（町田方面）
- ・JR東日本羽田アクセス線 <現答申外>

東京都が公表した「広域交通ネットワーク計画について」では「目標への寄与度」「収支採算性」「費用便益比」などの分析結果を基に「整備について優先的に検討すべき路線」5路線と「整備について検討すべき路線」14路線を右表のとおり抽出しています。（路線図については裏面参照）

大江戸線（東京12号線）延伸（光が丘～大泉学園町）は「整備について優先的に検討すべき路線」と位置付けられ、整備効果や今後の課題について示されています。

#### 【整備効果および今後の課題】

○東京12号線延伸（光が丘～大泉学園町）

##### 【整備効果】

- ・区部北西部の地域が本路線の整備により、鉄道駅へのアクセスが改善される。
- ・都心部の中核拠点や都心周辺部とのネットワークが強化される。

##### 【今後の課題】

- ・沿線まちづくりの具体化等による将来的な輸送需要の確保が必要。
- ・路線の実現には既存の補助制度以上の資金を確保することが必要となるため、事業スキーム等の検討の深度化が必要。

#### 整備について検討すべき路線

- ・東京8号線延伸（押上～野田市）
- ・東京9号線複々線化（和泉多摩川～新百合ヶ丘）
- ・東京11号線延伸（押上～松戸）
- ・新空港線「蒲蒲線」
- ・JR中央線複々線化
- ・JR京葉線延伸
- ・JR総武線・京葉線接続新線
- ・東京10号線複々線化（調布～笹塚）
- ・東京12号線延伸（大泉学園町～武蔵野線方面）
- ・区部周辺部環状公共交通
- ・つくばエクスプレス延伸
- ・多摩都市モノレール延伸（八王子方面）
- ・都心部・臨海地域地下鉄構想 <現答申外>
- ・都心部・品川地下鉄構想 <現答申外>

「整備について優先的に検討すべき路線」「整備について検討すべき路線」

